

研究タイトル：

近代日本の「迷惑をかけたくない」意識の形成過程の解明



氏名：	島田 雄一郎 / SHIMADA Yuichiro	E-mail：	shimada@oshima-k.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(文学)
所属学会・協会：	日本思想史学会、教育思想史学会、日本倫理学会、日本宗教学会		
キーワード：	ライフサイクル、ケア、教育、超高齢社会、成長史、物語		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・文献資料の批判的読解 ・史料調査 ・分野横断的な共同研究の推進と組織構築 		

研究内容：

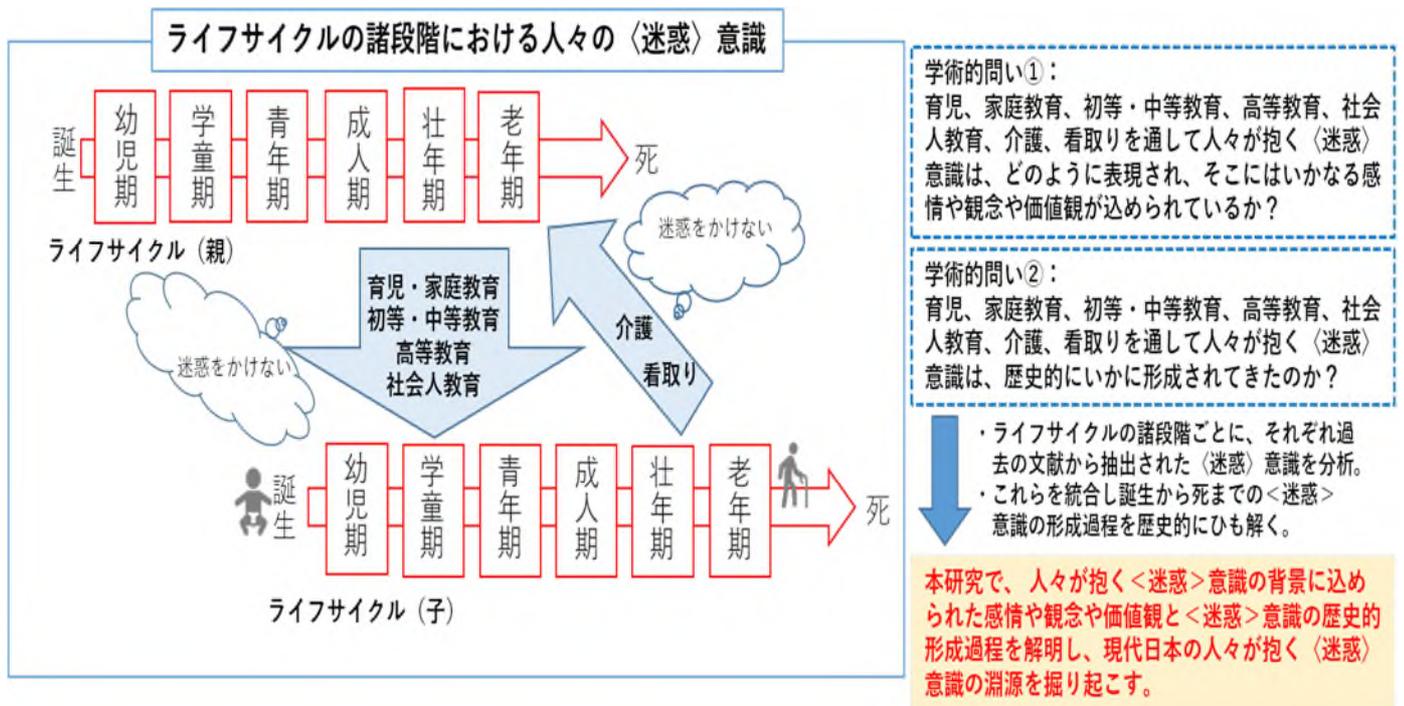
【問題の所在】

- ・現代日本の人々は、幼児の養育から老年期の生活に至るライフサイクルの中で、他者に「迷惑をかけない」ことを重視して生きていとされる。
- ・他者に「迷惑をかけない」という意識は、意思や行動を抑制する形で人々の「生きづらさ」につながる側面があることが、様々な調査・研究において言及されている。

【研究課題】

- ・上記の他者に「迷惑をかけない」という意識は、歴史的に如何に形成されてきたのか？
- ・人々が他者に「迷惑をかけない」という意識を抱く背景には、どのような感情や観念や価値観があるのか？

(参考) 研究の模式図 ※共同研究を組織し研究課題に取り組んでいる



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	